

Color Guide

カラーガイド

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。

●塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

本体等ホワイト部の塗装色
ホワイト (100%) +
ネービーブルー (少量)

本体等ゴールド部の塗装色
ゴールド (70%) + クリアイエロー (20%) +
クリアオレンジ (10%)

本体等グレー部の塗装色
ネービーブルー (70%) +
ミッドナイトブルー (30%)

腹部ライトグレー部の塗装色
エアクラフトグレー (80%) +
ブラック (20%)



SHIELD



GUNDAM ASTRAY GOLD FRAME

モンザレッド (100%)

顔、バズーカセンサー等レッド部の塗装色

ダークグレー (100%)

武器ダークグレー部の塗装色

ホワイト (90%) + ニュートラルグレー (10%)

バズーカタンク部の塗装色

クリアグリーン (100%)

目等グリーン部の塗装色



DUEL GUNDAM BAZOOKA



BEAM RIFLE



GUNDAM ASTRAY GOLD FRAME



MBF-P01

GUNDAM ASTRAY GOLD FRAME

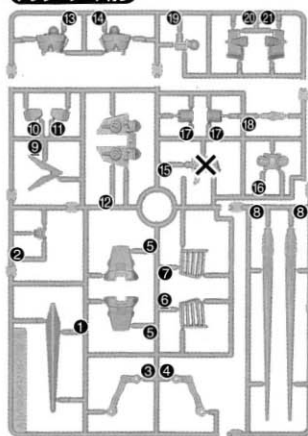
1/100 ガンダムアストレイ ゴールドフレーム

パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

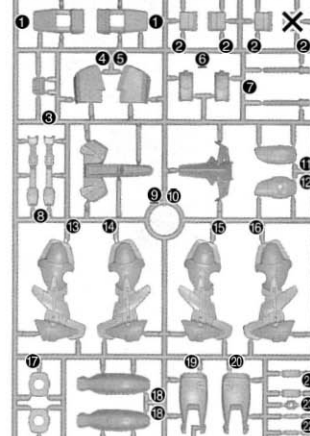
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り



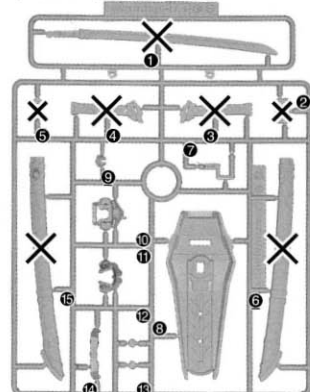
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り



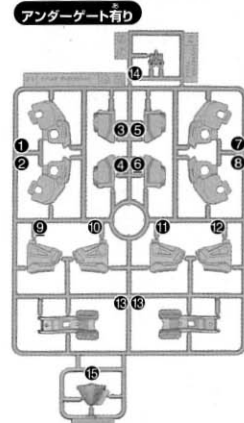
C1・C2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

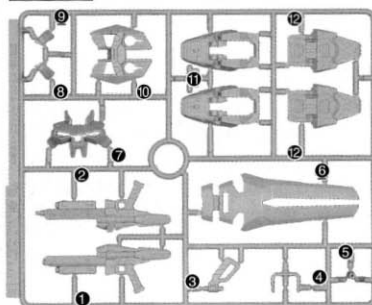


D1・D2パーツ

(スチロール樹脂: PS)

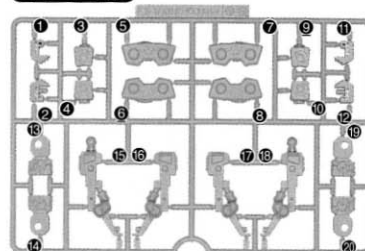


Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



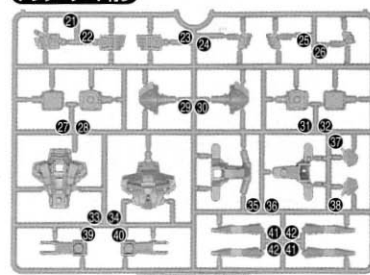
F1パーツ (スチロール樹脂: PS)

アンダーゲート有り

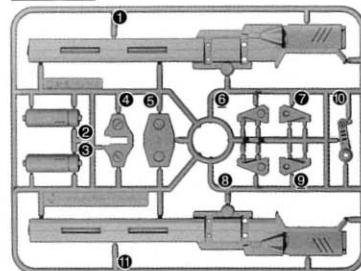


F2パーツ (スチロール樹脂: PS)

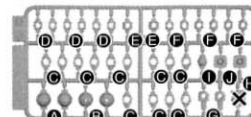
アンダーゲート有り



Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-116パーツ
(ポリエチレン: PE)



●シール.....1

注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける



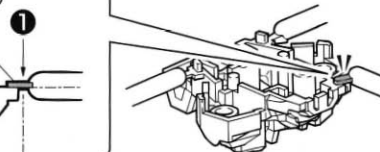
・反対側も同じように動かします

アンダーゲートの切り取り方

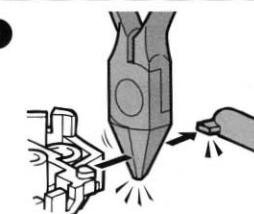
アンダーゲートマークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※A・D・Fパーツは下の図のように切り取ります。

(切り取る)



1

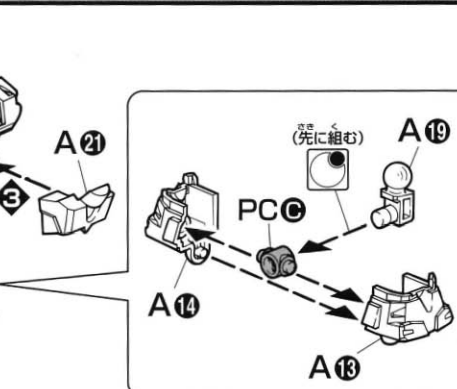
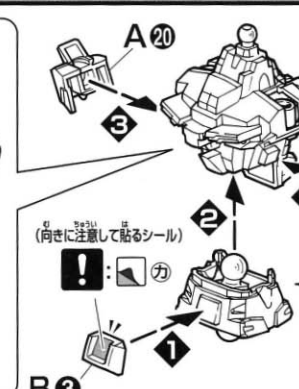
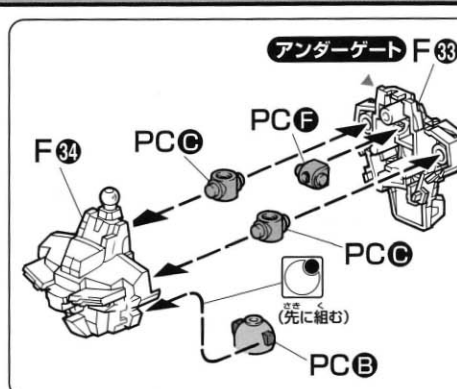


2



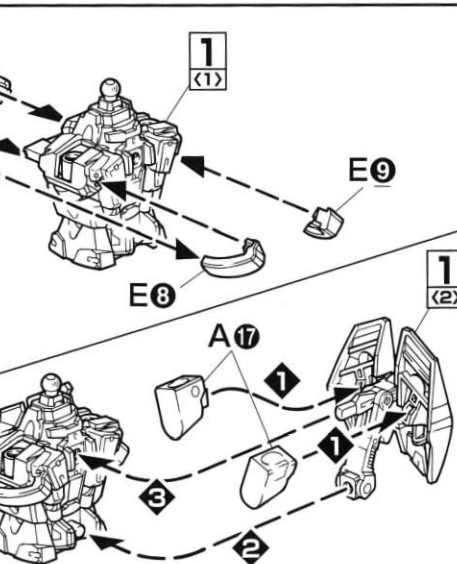
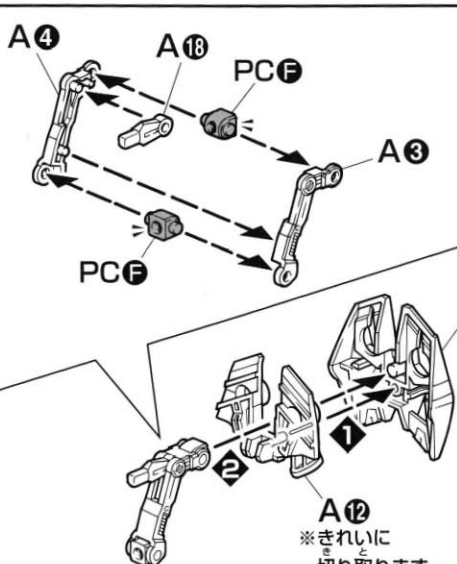
1

(1)



1

(2)



2

(1)

(シール)

A2

アンダーゲート

C9

(シール)

D14

2

(2)

※上を合わせて貼ります。

C11

PC1

(シール)

C10

2

(3)

アンダーゲート

A9

2

(2)

A16

!

3

(1)

PC0

アンダーゲート

F14

F13

アンダーゲート

PC6

B21

B22

アンダーゲート

F6

PCF

F1

アンダーゲート

アンダーゲート

F2

PC1

PC0

(先に組む)

アンダーゲート

F5

アンダーゲート

F20

PC0

F19

アンダーゲート

B22

B21

アンダーゲート

F8

PCF

アンダーゲート

F7

アンダーゲート

F11

アンダーゲート

F12

PC1

PC0

(先に組む)

4

(1)

アンダーゲート

F9

PC0

F10

アンダーゲート

A6

アンダーゲート

F30

アンダーゲート

B5

4

(2)

B17

B1

B2

F25

F22

3

5

(1)

PC0

F4

アンダーゲート

F3

アンダーゲート

A7

アンダーゲート

F29

アンダーゲート

B4

5

(2)

B1

B17

3

B2

F24

F23

6

(1)

2

つく

で

作った

頭部

5

つく

で

作った

左腕

1

つく

で

作った

ボディ

4

つく

で

作った

右腕

7

(3)

B11

PCB

B9

7

(1)

7

(2)

B12

9

(1)

アンダーゲート

D2

PC0

!

アンダーゲート

D1

D9

アンダーゲート

PC0

アンダーゲート

D10

7

(1)

F35

B23

PC0

F36

アンダーゲート

8

(1)

※図のアンダーゲート位置は一例です。
パーツ毎に、ご確認ください。

アンダーゲート

D5

アンダーゲート

D6

PC0

PCA

アンダーゲート

D4

PCA

PC0

アンダーゲート

D3

PCA

PC0

E12

※きれいに切り取ります。

3

1

2

4

E11

A5

アンダーゲート

9

(2)

B16

9

(1)

アンダーゲート

D13

B8

アンダーゲート

F40

F17・F18

B14

FRONT

●機体スペック(全高・重量・武装)
 型式番号:MBF-P01
 全高:17.53m
 重量:49.8t
 武装:ビームライフル
 ビームサーベル
 シールド
 イーゲルシュテルン
 デュエルガンダム専用バズーカ



右腕基部



ゴールドフレームは特殊システムにより連合の武装が使用可能だ。ただし、ヘリオポリス脱出時、未調整のままデュエルのバズーカを使用し、右腕は機能不全を起こして切り捨てられることになった。以後、地上での改修まで片腕で運用されることになる。

デュエルガンダム専用バズーカ

GAT-X102 デュエルガンダム専用に開発されたバズーカ。モビルスーツ用の携帯火器としては大型である。通常バズーカと呼ばれる火器は、弾そのものが推進力を持つが、本装備では、砲身内で弾を電磁加速させるリニアキャノンとしての機能も持つ。そのため砲身が長く、予備バッテリーの搭載のため大型化している。ヘリオポリス崩壊時にゴールドフレームが持ち出したため、ザフトに奪われたデュエルは本装備を使うことはなかった。



GUNDAM ASTRAY GOLD FRAME

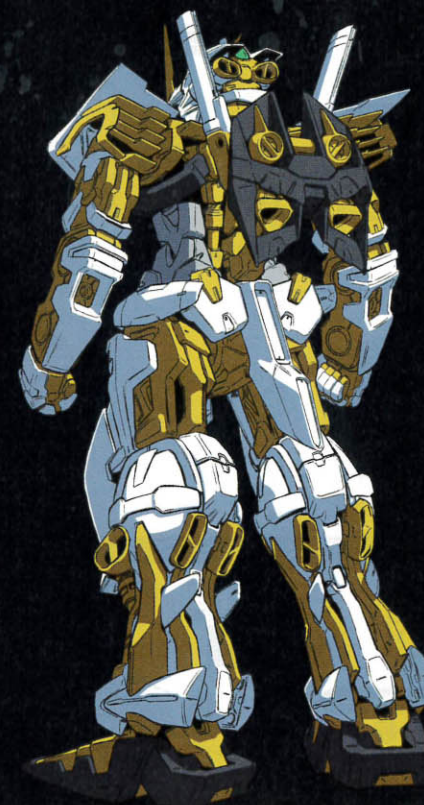
1/100 ガンダムアストレイ ゴールドフレーム



「機動戦士ガンダムSEED ASTRAY」第2巻より
 シナリオ/千葉智宏(スタジオオルフェ)
 コミック作画/ときた浩一
 協力/月刊ガンダムエース(角川書店)

イラスト:ときた浩一

REAR



イーゲルシュテルン

頭部左右に装備された対空自動制御機関砲。これもGAT-Xシリーズと同等のもので、同じ技術を利用している。砲弾は、胸の中にあり、限られた頭部スペースを圧迫しない構造だ。



シールド

連合のGAT-Xシリーズ用に開発されたシールド。オーブにおいてもM1アストレイが標準装備として使用するなど、もっとも広く普及しているシールドである。表面は耐ビームコーティング仕様になっており、ビーム兵器に対しても高い防御力を持つ。



バックパック

背面のバックパックは下方にスライドし、その下のジョイントに様々なオプションを装備することが出来る。アストレイは戦局に応じ、機体各部に装備を追加、あるいは換装することを想定し設計されている。その汎用性は広く、傭兵仕様となったブルーフレームの特注兵器や、ジャンク屋がスクラップからでっち上げた奇想兵器まで幅広く運用することが出来る。



連合のモビルスーツGAT-Xシリーズの開発は、中立国であったオーブ連合首長国のコロニー「ヘリオポリス」で行われていた。実はこれは、自国防衛用のモビルスーツを欲したオーブ五大氏族のサハク家が単独で進めたことであり、連合機開発で得られた技術を使用して、「アストレイ」と呼ばれる機体の開発を極秘裏に行っていた。しかし、ヘリオポリスでの連合機の開発はザフトに知られ、突然襲撃を受けてしまう。その時、アストレイシリーズは、予備パーツ状態の機体も含め五機が完成していた。金色のフレームを持つ「ゴールドフレーム」はサハク家のロンド・ギナ・サハクによって運び出され難を逃れる。この時デュエルガンダムのバズーカと引き替えに右腕を失ってしまう。地上のオノゴロ島に降ろされたゴールドフレームは、オーブ近海で破壊されたGAT-X207ブリッツガンダムの右腕を移植された上で全面改修が加えられる。この時、ミラーージュコロイドステルス機能も付加された。機体は、完全改修前にも出撃し、同じアストレイでありながらジャンク屋と傭兵の手に渡った機体「レッド」と「ブルー」とも激しい戦闘を繰り広げた。本機は、最終的に宇宙ステーション「アムノミハシラ」に機体は上げられ、完全改修の末、ゴールドフレーム天(アマツ)として完成することになる。それから数年が経過した時、新たなゴールドフレームが活動を開始。改修前のノーマル状態の外見を持つその機体は大きな謎に包まれている……。

ビームライフル



MS用のビームライフルは、前大戦の初期段階において、はじめて連合で実用化された。本機のライフルはそのデータを使用しており、ほぼ同時期に採用されたものである。パワー供給は特殊プラグを通して本体から行われており、アストレイ以外の機体では使用出来ない。

ビームサーベル

アストレイの背中にセットされた格闘戦用武器。ミラーージュコロイド用磁場形成機構を応用して、ビーム刃を作り出している。



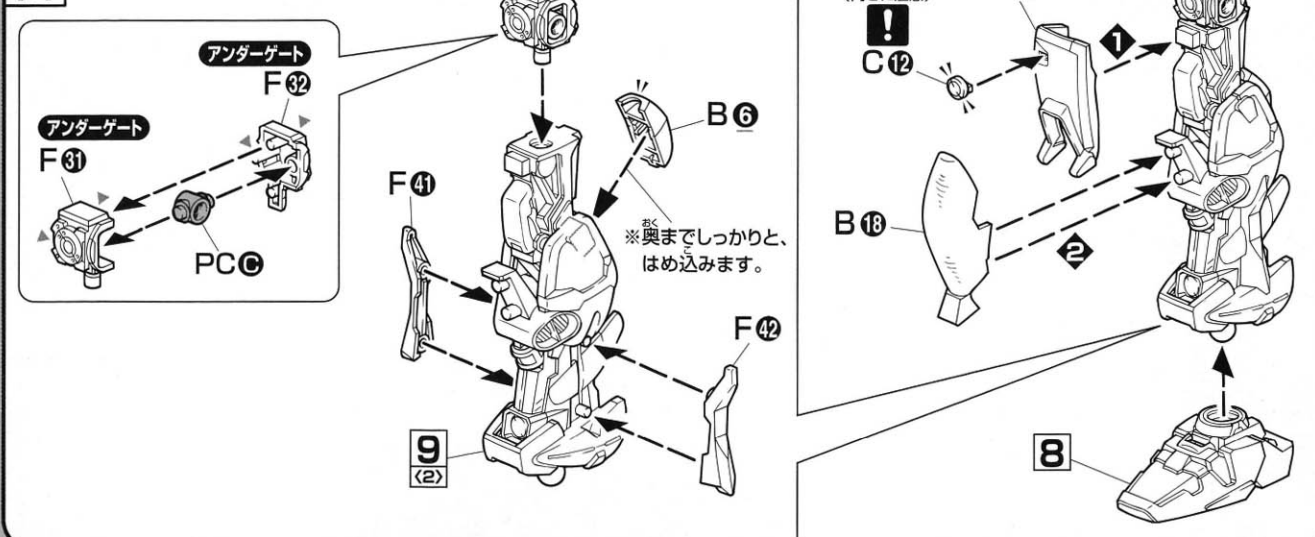
ASTRAY(王道ならざる者)の生き様を見届けよ!

オーブで開発された5機のアストレイは、このゴールドフレームの他に、MBF-P02 レッドフレーム、MBF-P03second LブルーフレームセカンドL、MBF-P04グリーンフレームがある(MBF-P05は所在不明)。これらすべてがガンプラとして発売中だ。



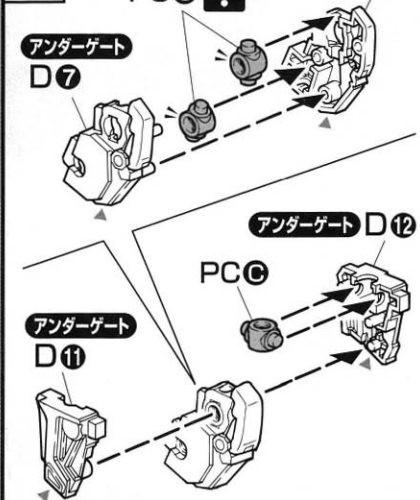
9

(3)



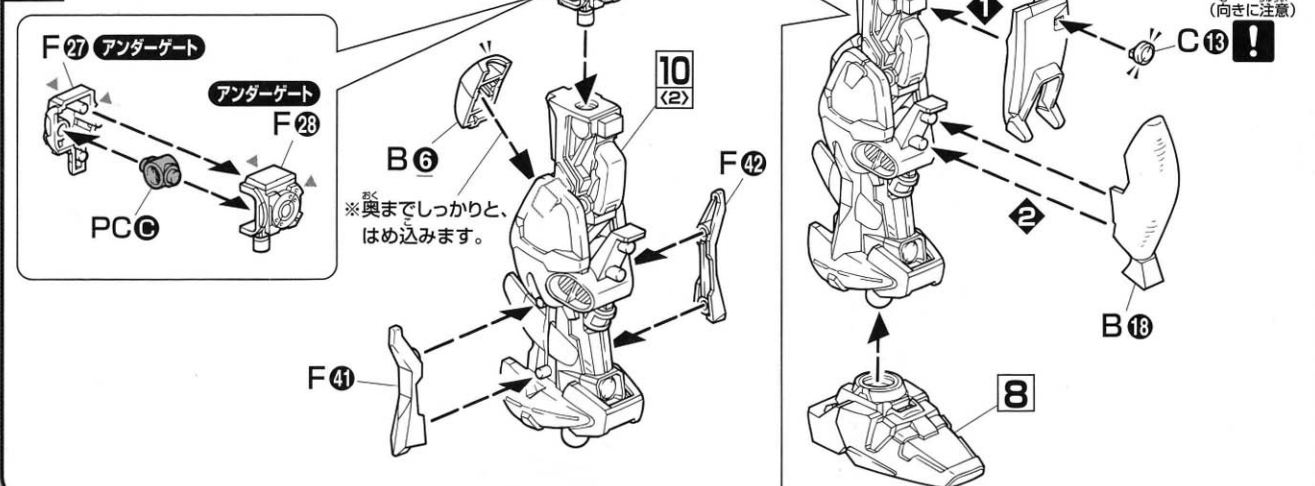
10

(1)



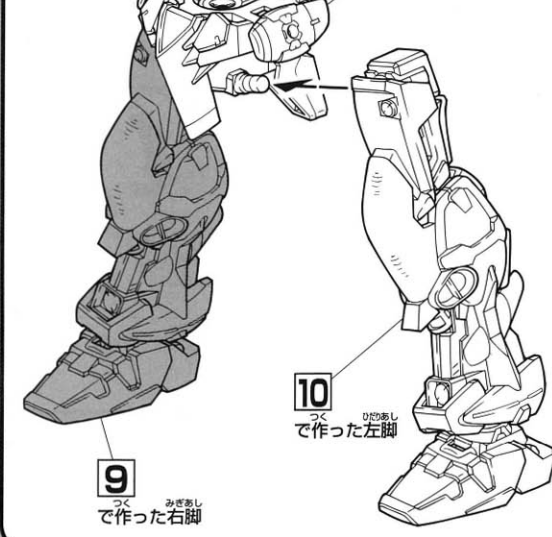
10

(3)



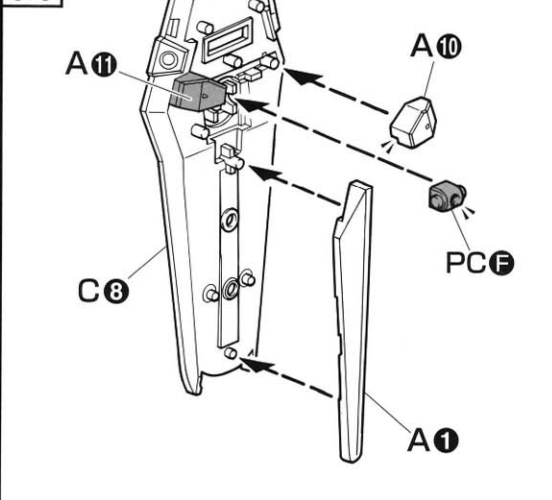
11

(1)



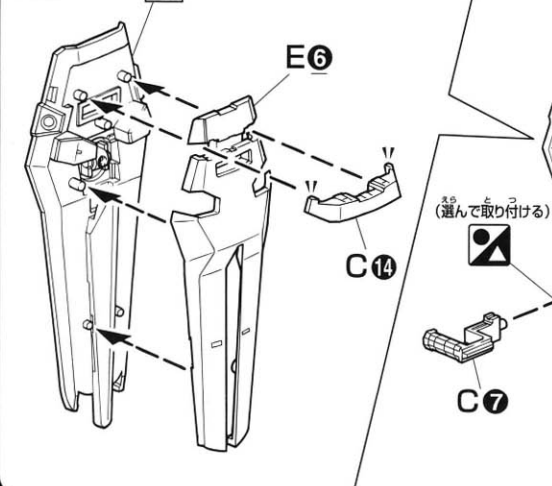
13

(1)



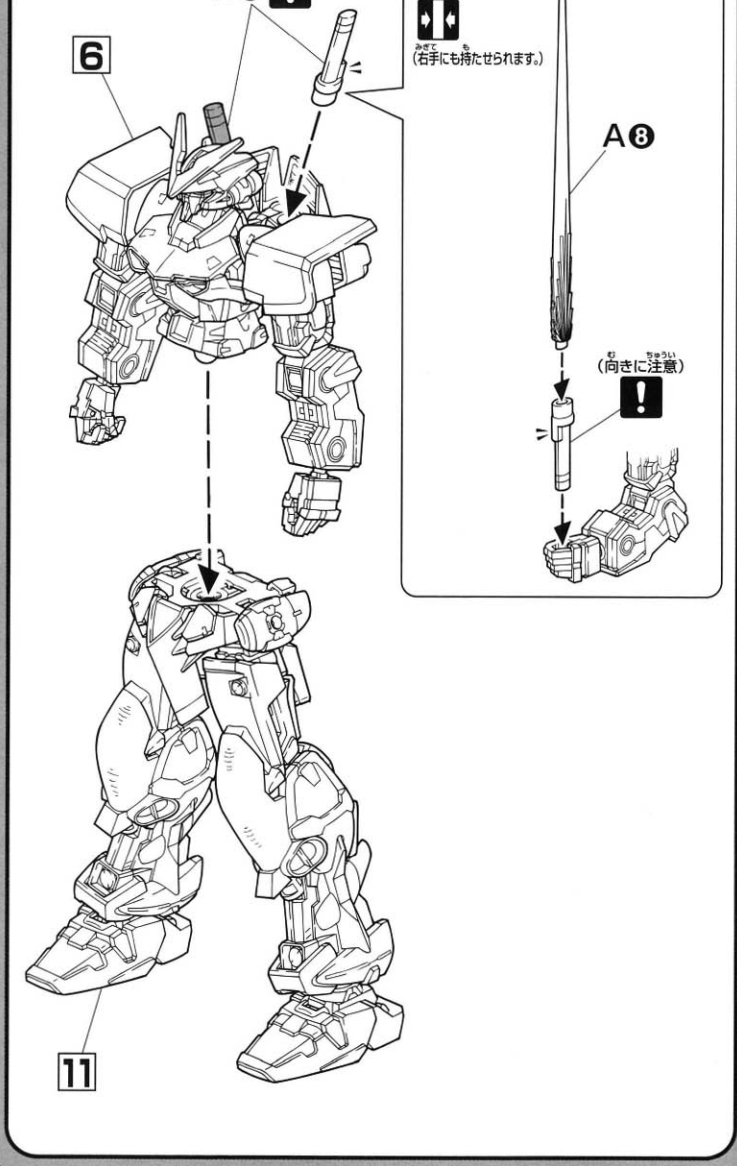
13

(2)



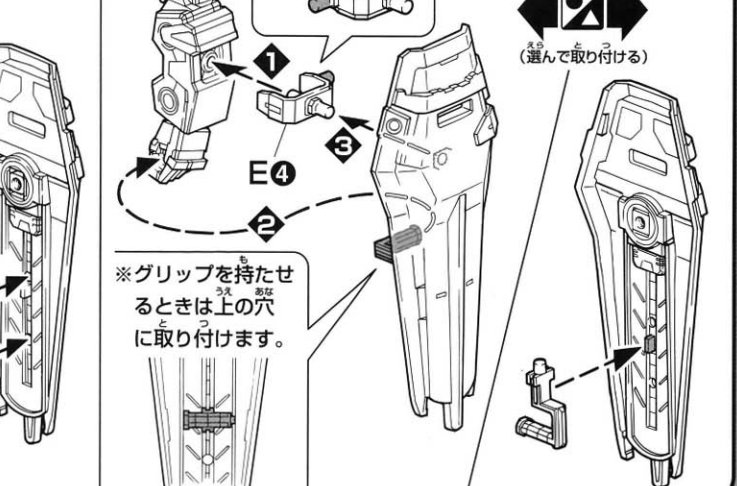
12

(1)

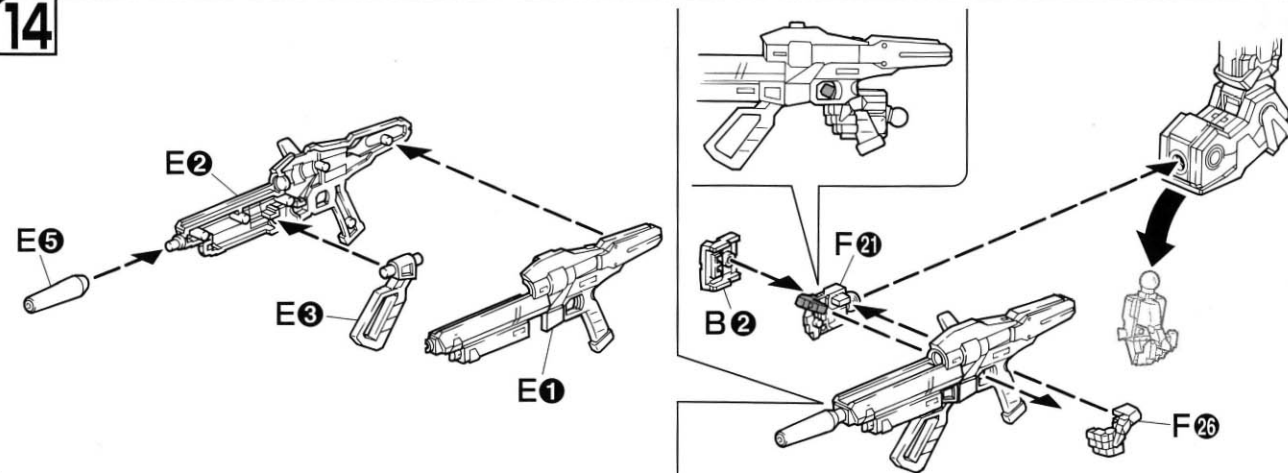


13

(2)

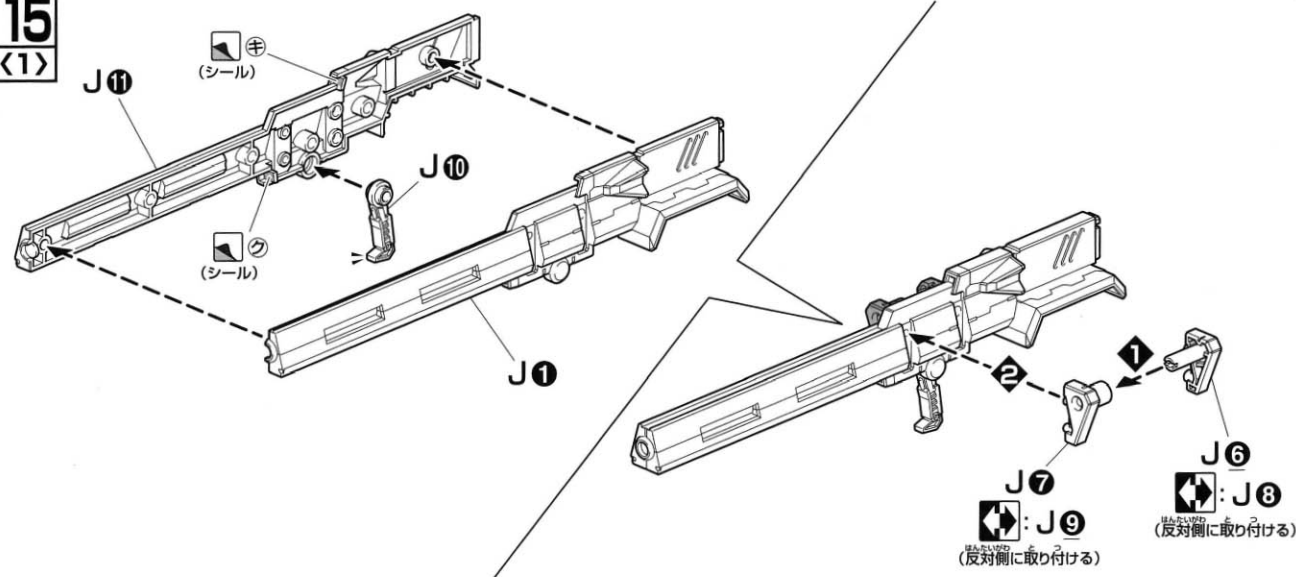


14



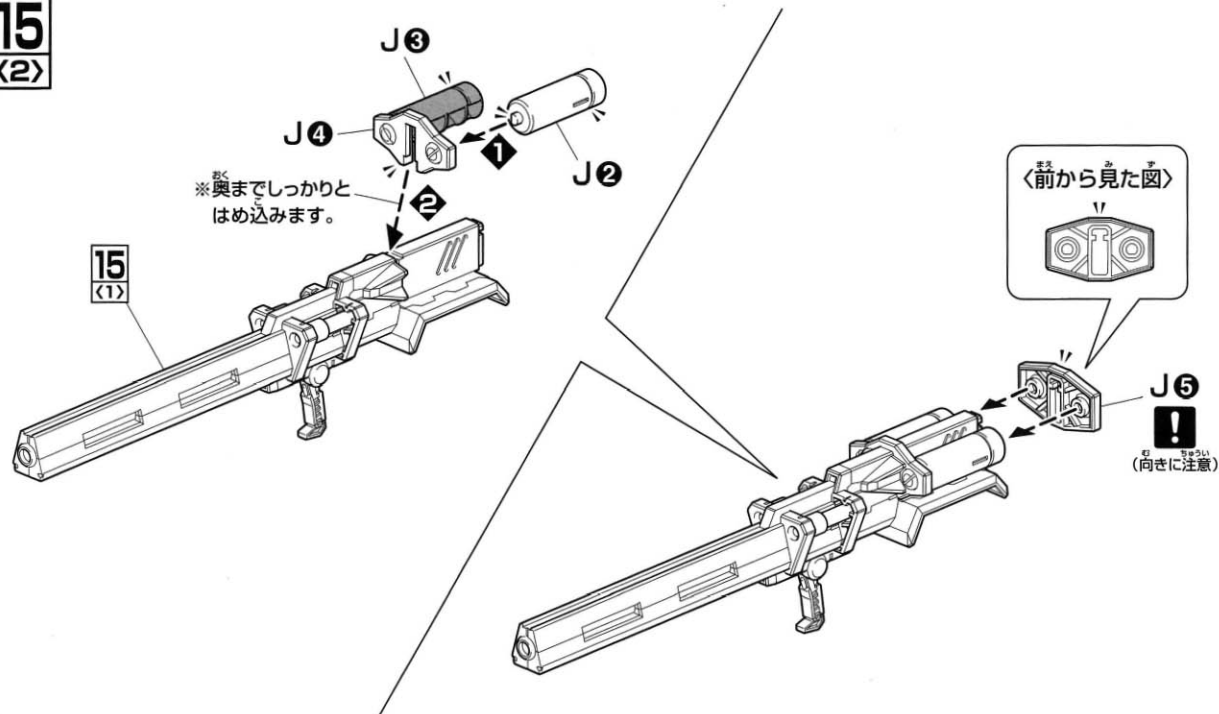
15

<1>



15

<2>



16

(左手でも持てます)

※ビームライフルは手首ごと外しておきます。

